**１　　その情報は必要ですか。（まずは，他方当事者（相手）等に伝えてもよい情報のみを記載してください。あなたが作成したものではない書面の場合，必要ない部分は，マスキングして提出しましょう。）**

　　　　　　　　非開示を希望する書面をステープラー（ホチキスなど）で留めて下さい。

～マスキング（黒塗り）の具体的方法～

・該当部分を黒ペン等で塗りつぶすか、テープを貼るなどしてからコピーする。

※該当部分が透けて見えていないか十分に確認してください。

収入額は、審理に必要なので隠さないでください。

隠せません！！

**２　 その情報を他方当事者（相手）等に知られることで，社会生活を営むのに著しい支障を生じるおそれがあるなど、非開示とすべき具体的な理由がありますか。（単に隠したいという気持ちだけで非開示希望申出をしないでください。）**

**３　　提出する書面の中の，その情報がある部分にマーカー等で色付けして特定してください。この書面とマーカー等で色付けした書面をステープラー（ホチキスなど）で留めてください。**

**４　　非開示を希望しても，裁判官の判断により他方当事者（相手）等に開示される場合があります。裁判官は下記理由を参考に判断しますので必ず具体的に書いてください。**

------------------------------------------------------------------

上記１から４を確認の上，別添書面のうちマーカー等で色付けした部分については，他方当事者（相手）等に非開示とする（見せない）ことを希望します。

**非開示を希望する理由（該当する項目をチェックした上でその具体的理由を必ず記載してください。具体的な理由がない場合は、非開示相当と扱われない可能性があります。）**

□　事件の関係人である未成年者の利益を害するおそれがある。

（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　□　当事者や第三者の私生活・業務の平穏を害するおそれがある。

　（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　□　当事者や第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより，その者が社会生活を営むのに著しい支障を生じるおそれがある。

　（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　□　当事者や第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより，その者の名誉を著しく害するおそれがある。

　（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□　その他

（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**事件番号　令和　　　　年（家イ・家）第　　　　　　　　号**

**令和　　　年　　　月　　　日　氏名**

**裁判所に提出する書面に非開示を希望する情報が含まれる場合，提出する書面ごとに，毎回必ずこの書面を裁判所に提出してください（一度申出をした同じ情報であっても、この申出書と一体として提出されない書面は、非開示希望がない書面として相手方に閲覧謄写されることがあります。）。**